

↓ ↓ 読み 行数 仮名 あり

【第4章】日本の中のいろいろなコトバ

1. 国語と日本語 (p. 96)		
Key	イデオロギー	①一般に、思想傾向。特に、政治・社会思想。 ②政治・道徳・宗教などにおける、歴史的、社会的立場に制約された考え方。
2	動員	どういん ①ある目的のために人や物を組織的に集めること。特に、社会運動・労働運動で、運動に必要な人員を行動におもむかせること。 ②軍隊を平時編制から戦時編制に切り替えること。
3	徴兵制	ちょうへいせい 国家が一定年齢の国民に兵役義務を課して強制的に軍隊に入隊させる制度。日本では、明治6年（1873）発布の徴兵令に始まり、昭和20年（1945）に廃止。
7	趨勢	すうせい 物事がこれから先どうなってゆくかという様子。成り行き。社会などの、全体の流れ。
15	発足	ほっそく 団体・組織などが新しく作られ、活動を始めること。
16	* 主事	しゅじ ①ある仕事を主として取り扱うこと。また、その人。 ②官庁・学校などで、その長の命を受けて一定の業務を管理する職。また、その人。
17	音韻体系	おんいんたいけい 一言語のすべての音素に相互依存関係や対立関係を与える体系のこと。
18	策定	さくてい 政策や計画をいろいろ考えて決めること。
22	変種	へんしゅ ①基本的には同類であるが、どこかが違っているようなもの。変わり種。②生物分類で、種の基準標本との形態的差異があり、地理的に分布の異なる個体群。
30	台頭	たいとう ①あるものの勢力が伸び、進出すること。 ②頭を持ち上げること。
32	* 涵養	かんよう 水が自然にしみこむように、少しずつ養い育てること。
34	明文化	めいぶんか はっきり文書で書き示すこと。
36	頻度	ひんど ある事の繰り返される度合。
41	頻繁に	ひんばんに しばしば行われること(さま)。絶え間なく行われること(さま)。
47	答申	とうしん 上級の官庁や上司の問いに対して意見を申し述べること。ここでは諮問に対して出された答申書の意。
48	情緒	じょうちょ 人に、ある感情を起こさせるその物独特の味わい。物事に触れて起こるさまざまな感情。
55	* 顧みる	かえりみる ①心にとどめ考える。気にかける。 ②過ぎ去った事を思い起こす。